



〔杖衝坂(つえつきさか=采女町)〕

杖衝坂は市の南部、采女町の旧道にあります。小高い山の中腹あたりの坂で、峠に向けて急なこう配が続いています。その昔、日本武尊(やまとたけるのみこと)が伊吹山の神を討ちに出かけた時に病にかかり、帰路、この坂を剣を杖(つえ)にしながらか越えたことから、「杖衝坂」と呼ばれるようになったという言い伝えがあります。江戸時代には松尾芭蕉(ばしょう)が馬に乗って通り、急な坂のため落馬して「徒歩(かち)ならば杖衝坂を落馬かな」の句を詠んだといわれています。

特集

催しがいっぱいの全国生涯学習フェスティバル
建築基準法を知っていますか? 住宅火災を防ぎましょう



発見/発揮/発信/まなびの三重奏
まなびピア三重2000

第12回全国生涯学習フェスティバル
開催期間/平成12年11月1日(水)~11月5日(日)